



印西市こども・若者等意見聴取 フィードバック資料

令和7年3月

印西市 健康子ども部 子育て支援課

こども・若者等意見聴取の概要

多くのみなさんから意見をいただきました。

No.	内容	調査対象	この資料での表記
1	子ども・子育て支援に関するニーズ調査	就学前児童保護者	就学前保護者
2	子ども・子育て支援に関するニーズ調査	小学生保護者	小学生保護者
3	こども・若者に関する生活実態調査	小学5年生	小5
4	こども・若者に関する生活実態調査	中学2年生	中2
5	こども・若者に関する生活実態調査	小学5年生・中学2年生保護者	小5・中2保護者
6	こども・若者に関する生活実態調査	市内在住15歳～30歳の若者	若者
7	子ども・子育てに関する意識調査	市内在住18歳以上	一般
8	印西市こどもワークショップ	小学4年生～中学3年生	ワークショップ
9	児童館・図書館等利用者アンケート	小学生・中学生・高校生	児童館・図書館
10	こどもに関わる活動団体等アンケート	市民活動団体等	市民団体等

次ページから、計画案の各分野(基本目標)ごとに、いただいた意見と反映状況をまとめました。

第4章 ライフステージ別の支援

基本目標1 成長に応じて切れ目なく支援する



1 こどもの誕生前から幼児期

みなさんの意見(主なもの)	意見反映時のポイント	意見の反映方法
【相談しやすい環境づくりについて】 ネットやSNSで情報、相談を気軽に受けられたら良い。(就学前保護者) LINEなどのツールを使って気軽に相談できる場があれば良いと思う。他にもチャットなどで面談できると良いかも。(一般) 子育ての相談窓口など、専門知識がある人が対応してほしい。(就学前保護者) 母親が、孤立するような事にならないよう相談(カウンセラー)できる場(市役所や保健所などが)を広く門戸を開いてあげて欲しいです。(一般) 健診や予防接種、体調不良の受診時に生活のことまで目を向けるような問診や気軽に話せる体勢があると相談しやすい。	SNSなど、気軽に相談できるツールの必要性が挙げられた。 専門職による専門的な相談業務の実施が求められている。 対面においても、より相談しやすい環境の整備が求められている。	「妊娠期から子育て期にわたり、健診時自 や子育て支援拠点施設での相談、SNSを 活用した相談やプッシュ型支援など、より 相談しやすく情報を得やすい環境づくりを 行う」 「こども家庭センターで、専門職による妊 娠期から子育て期までの切れ目ない支援 を行う」 ことを記載しました。

第4章 ライフステージ別の支援

基本目標1 成長に応じて切れ目なく支援する



1 こどもの誕生前から幼児期

みなさんの意見(主なもの)

意見反映時のポイント

意見の反映方法

【教育・保育施設について】

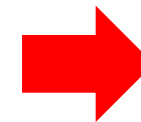
保育園に入りにくいと思います。待機児童問題は、子どもを産むのにためらい、少子化につながります。保育園入園を希望する誰もが安心して入園できるようになることを切に願います。(就学前保護者)

流山市などが導入している保育園への送迎サービスの”ステーション”のような機能があれば嬉しい。(就学前保護者)

一時預かり事業を充実させてほしい。(就学前保護者)

病児保育の施設・定員を増やしてほしいです。(就学前保護者)

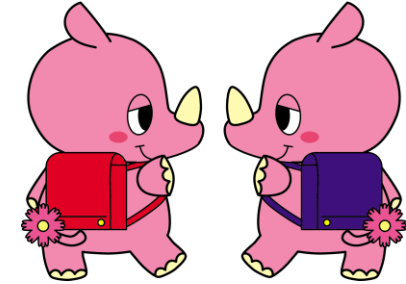
保育サービスの更なる拡充が求められている。



「保育園等では、延長保育、一時預かり、病児保育など通常の預かりに加えた保育サービスの充実を図り、また、保育の利便性を高めるため送迎保育ステーションの整備を進める」ことを記載しました。

第4章 ライフステージ別の支援

基本目標1 成長に応じて切れ目なく支援する



2 学童期・思春期・青年期

みなさんの意見(主なもの)

意見反映時のポイント

意見の反映方法

【放課後児童対策について】

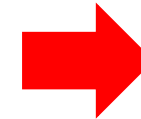
学童を利用したいが、利用したい人に対して利用できる人数が少ないので、増やして欲しい。(小学生保護者)

夏休みなどの休日(長期)に学童の空きが少ないのが困る。(小学生保護者)

放課後子ども教室の拡充を望みます。長期休みの受入れもあると助かります。長期休暇中の学童短期利用の受入れを増やして欲しい。(小学生保護者)

学童ではなく、放課後子ども教育を増やしてほしい。シルバーさん等、地域の大人が、小学校の教室で一緒に居てくれる場。(就学前保護者)

放課後のこどもの居場所の充実を求める意見が挙げられた。

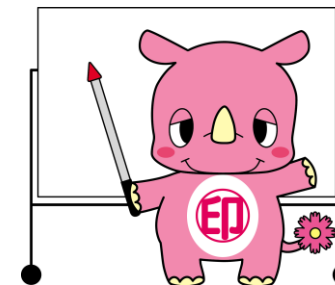


「学童クラブに待機児童が発生している地域については引き続き施設の整備・確保を推進していきます。また、放課後子ども教室の実施を支援し、地域・学校・家庭のつながりを強めていく」ことを記載しました。

第4章 ライフステージ別の支援

基本目標1 成長に応じて切れ目なく支援する

2 学童期・思春期・青年期



みなさんの意見(主なもの)

【不登校支援について】

子どもの不登校について相談できる場所がほしい。(中学生保護者)

不登校児に対する施策をもっと強化してほしい。(クラス・教室に入りづらい生徒が別室登校できるような部屋・補助教員などの人員・制度等の充実)(中学生保護者)

意見反映時のポイント

不登校支援の充実を求める意見が挙げられた。

意見の反映方法

「悩みごとなどに対し、様々な相談の方法や窓口があることを様々な媒体で周知していく」

「自分の学級に入りづらい児童生徒が、校内において安心して過ごすことのできる校内教育支援センターを整備し、教室以外の居場所づくりを進める」ことを記載しました。

第5章 ライフステージを通じた支援

基本目標2 すべてのこどもの幸せな成長を支援する



1 多様な遊び・体験、活躍できる機会づくり

みなさんの意見(主なもの)

【居場所について】

夏の熱中症対策と併せて室内の遊べる施設が増えたら嬉しいです。(小学生保護者)

雨の日でも遊べる屋内施設を検討してほしい。児童館だけでは、小学生くらいになると体力を持て余してしまう。(就学前保護者)

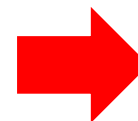
雨の日に室内で遊べる無料の施設を増やしてほしい。(小5)

室内にあるアスレチック施設を作してほしいです。(小5)

絵などをたくさんかけて、まんがもいっぱいかけて、ベンきょうや、本がよめるようなおちつくばしょ。(児童館・図書館)

意見反映時のポイント

天候などに関係なく遊ぶことができる場所を求める意見が挙げられた。



意見の反映方法

「季節や天候などに左右されることなく、全てのこども・若者が安心・安全に過ごし楽しむことができる、こどもの居場所としての施設の整備を進める」ことを記載しました。

第5章 ライフステージを通じた支援

基本目標2 すべてのこどもの幸せな成長を支援する



1 多様な遊び・体験、活躍できる機会づくり

みなさんの意見(主なもの)

【居場所について】

ゆったりゲームができるばしょ。(パソコンも)(児童館・図書館)

集中して勉強ができる場所や、友達などと思いきり遊べる場所がほしい(公園以外)(中2)

遊具があって、小さい子供でも安心して遊べる公園がほしいし、思いきり遊んだり走ったりできる公園もほしい！(小5)

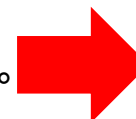
子ども(小児から学生まで幅広い世代)が遊び、学び、憩いの場として安心して過ごせる空間。(若者)

若者がバンドの練習ができる、無料のスタジオをたくさん作る。(若者)

意見反映時のポイント

意見の反映方法

多様な居場所を求める意見が挙げられた。



「価値観の多様化やそれを受け入れる文化の広がりに伴い、多様なニーズに応じた多様な居場所が求められている」ことを記載しました。

第5章 ライフステージを通じた支援

基本目標2 すべてのこどもの幸せな成長を支援する



1 多様な遊び・体験、活躍できる機会づくり

みなさんの意見(主なもの)

【自然環境について】

印西市の自然を壊さないよう、なるべく自然環境を考えた生活をできるようにしてほしい。(小5)

きれいな里山がずっと残る自然豊かな印西市でいてほしいです。(小5保護者)

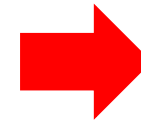
こんな印西市がいい⇒「自然がいっぱい印西市」(ワークショップ)

こんな印西市がいい⇒「環境に優しい印西市」(ワークショップ)

乳幼児期に自然豊かな環境の下、家族、仲間と共に五感を使って活動をして、心と身体が健康でそして豊かな時間をすごしてほしい。それが今の、そして未来の輝かしい日々につながると思う。(市民団体等)

意見反映時のポイント

豊かな自然環境の保全を求める意見が挙げられた。

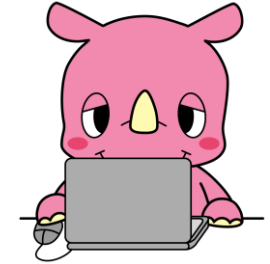


意見の反映方法

「市が保全する里山や市民の森を自然観察会や生物調査等の環境学習の場として活用し、こどもの自然環境を大切にする心を育てる」
「カーボンニュートラルについて、親子参加型イベントの実施や、こども向けのリーフレットを配布することで、こどもの環境意識の向上を図る」
ことを記載しました。

第5章 ライフステージを通じた支援

基本目標2 すべてのこどもの幸せな成長を支援する



2 困難な状況にあるこどもや家庭への支援

みなさんの意見(主なもの)

【相談支援について】

サービスは充実していると思うが、認知度が少ないと感じる。そのため、相談したくても相談先がわからない人が多いのではないかと感じます。(若者)

もっと柔軟性を持って対応すべき。気軽に相談できる場所があると良い。ある程度の権限を持って細かな対応ができると良い。(一般)

【障害児への支援について】

発達障がいのある子への行政サポートをもっとわかりやすく、充実させてほしい。(一般)

障害児に対する細やかでよりそった対応がもっとあればいいと思う。(市民団体等)

意見反映時のポイント

様々な相談内容に対応した相談窓口(ワンストップサービス)を求める意見が挙げられた。

障がいのあるこどもへのサポート体制の充実を求める意見が挙げられた。

意見の反映方法

「福祉の総合窓口は、どこに相談してよいかわからない方や、複雑化・複合化した課題を抱える方の悩み・困りごとを受け止め、適切な相談機関や支援機関等へつなぐ役割を担っていく」ことを記載しました。

「障がい、発達上の特性のある幼児や保護者に適切な支援を行うためには、健康診査、各種相談、訪問等のあらゆる機会を通じて状況を早期に把握し、親子に寄り添いながら支援していくことが重要」と記載しました。

第5章 ライフステージを通じた支援

基本目標2 すべてのこどもの幸せな成長を支援する



4 こどもの安全を守る取り組み

みなさんの意見(主なもの)

【安全なまちづくりについて】

子どもの安全が守られるか心配。(就学前保護者)

子供が安全・安心して住み続けられる市にしたい。(小5)

歩道がないため通学路を安全にしてもらいたい。(中2)

こんな印西市がいい⇒「災害・犯罪・事故がなく、安全な街」(ワークショップ)

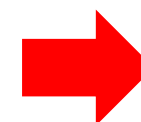
こんな印西市がいい⇒「自由で(治安がいい)平和な町」(ワークショップ)

意見反映時のポイント

安心・安全なまちづくりに関する意見が挙げられた。

意見の反映方法

「安全教育の充実と、通学時等の安全確保に引き続き努めるとともに、学校ホームページを活用した学校広報の充実や地域人材の活用により、こどもの安全を守るための地域との連携を進める」
「こどものインターネット利用が進む中、健全やかな成長を阻害する情報が氾濫し、それによる犯罪被害につながらないように、こどもが安全にインターネットを利用できる環境整備が重要」と記載しました。



第6章 子育て当事者にやさしい社会

基本目標3 こどもの育ちを社会全体で支える



1 子育て・教育に関する経済的負担の軽減

みなさんの意見(主なもの)

【経済的な支援について】

シングルマザーにもっと優しい市になってほしい。手当、子供にかかるお金、もっと支援してほしい。(就学前保護者)

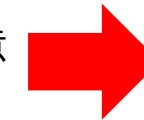
給食費の無償化等、お金がかからないような支援を増やしてほしい。(就学前保護者)

正直子どもを育てるのにお金がかかる。印西市独自の支援が欲しい。今のままだと塾にも通わせられない。(小5・中2保護者)

小さい子もお金が掛かるが、年齢が上がるにつれ、もっとお金が掛かるので、中学生や高校生等にも補助がもっとあるといいと思う。(一般)

意見反映時のポイント

子育てに関する経済的な支援を求める意見が挙げられている。



意見の反映方法

「国の制度等も活用しながらの支援、当市独自の支援などにより、子育て家庭の経済的負担軽減を図る」ことを記載しました。

みなさんが良いと評価してくれたこと

意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

みなさんの意見(主なもの)

子育て支援センターが充実していて、ほぼ毎日利用しています。季節の制作やイベントに参加でき、親子共に楽しく安心して活動できる場であり、子育ての相談が気軽にできる場でもあるため、このような支援を継続していただきたいです。(就学前保護者)

保育園の第三子無償化は大変ありがたいと思いました。(就学前保護者)

図書館での絵本の読み聞かせをしてくれるのは、とても良いと思います。今後も引き続きよろしくお願いします。(就学前保護者)

保育園待機児童ゼロを達成、素晴らしいと思います。学童待機ゼロ、学習環境の充実についても、よろしくお願いいたします。(就学前保護者)

他市から引っ越し、とても教育熱心に市が取り組んでくださり、驚きと同時に感謝でいっぱいです。印西市に住んで住み心地がよく、大好きで幸福感をいつも感じられ、ずっと住みたいと思っています。(小5・中2保護者)

各支援センターのおたより確認時など、子育てナビをよく見えています。LINEも便利なので活用しています。(就学前保護者)

子育て支援対策には感謝をしています。ありがとうございます。印西市でこれからも住んでいきたいです。(就学前保護者)



反映が難しかった意見

今回のこども計画では反映が難しかった意見です。

みなさんの意見(主なもの)	反映が難しかった理由・考え方
地域のお祭りやイベントの開催を求める意見	こども計画では、こども・若者・子育て当事者を主な対象とした施策について記載しています。そのため、全市民に関わるまちづくり施策については記載しませんでした。印西市のより良い未来を市民の皆様とともに創るため、今後も声を聞かせていただき、その声を踏まえたまちづくりを進めて参ります。
交通アクセスの改善や運賃の値下げを求める意見	
医療機関の増設を求める意見	
商業施設等の誘致に関する意見	

担当部署と連携し、検討していきます。

